

【永平寺町、志比北地区振興会、えい坊くんのまちづくり、京福バス、えちぜん鉄道、日本郵便、福井県】

- ・ 地方小都市として、人口減少、少子高齢化、産業衰退が進行している
- ・ 高齢者などの地域住民や観光客（年間約114万人）の地域内移動が公共交通ではなくマイカーに依存している

- ☒ 複数移動手段活用時の利便性 ☒ ラストマイルの移動手段不足
☐ 公共交通・道路の混雑 ☒ 高齢者等の移動弱者の増加

METI「新しいモビリティサービスの活性化に向けて」より引用

- ・ 自動走行を誘因として地域交通のプラットフォームを作り、集客による経済力を基盤として、地域住民の移動と物の移動サービスを支える（→交通空白地帯の解消と貨客混載）
- ・ 人口減少による地域経済の停滞を、観光客のサービス利用、商品購入により活性化（→観光客の移動支援）

- ・ 交通空白地での課題解決：①D2Dのデマンド型運行、②予約・運行システムの開発、③町負担金・地域交通事業者への影響検証
- ・ 自動走行の実用化と観光客（年間約114万人）の移動支援：①自動走行実証、②移動データプラットフォームの実証
- ・ 貨客混載：①配送ロボットと自動走行車による郵便輸送・商品配送、②デマンド型自家用有償旅客による貨客混載

- ☐ カーシェア
 - ☒ デマンド交通
 - ☐ マルチモーダルサービス
 - ☒ 自動走行車の活用
 - ☒ 貨客混載
 - ☒ ラストマイル配送無人化
 - ☐ 移動サービスと周辺サービスの連携

METI『IoTやAIが可能とする新しいモビリティサービスに関する研究会』中間整理より引用

- 永平寺町は、鉄道、バス、高速道路が存在し、永平寺を經由して観光客が移動する交通の要衝
- 実証実験は永平寺町内で実施するが、将来的には近隣市への横展開も検討
- 北陸新幹線が開業する2022年度までにMaaSを実現



- 自動走行を誘因として
地域交通のプラットフォームを作り、集客による経済力を基盤として、地域住民の移動と物の移動サービスを支える

